

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水の蘇生は地域の活性化事業 (透明度の向上・汚泥削減・貧酸素化の解消)
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人しなとべ 諏訪市湖岸通り一丁目19番7号
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	833,162円 (うち支援金: 624,000円)

#### 事業内容

- ①諏訪湖の流入河川等の水質浄化活動  
諏訪湖の水質向上の目的を達成するため、諏訪湖の流入河川等の浄化活動を、有用微生物群を用いた有用微生物ダンゴ投入により昨年度に続き実施。4月～3月  
・岡谷市小萩養魚場 ・諏訪市落水川、境川
- ②「諏訪湖浄化」講演会の開催  
諏訪東京理科大学奈良松範教授により有用微生物群を用いた水質浄化活動の有用性について勉強会を実施。  
7月16日 諏訪倫理法人会館セミナーハウス
- ③小中学生向けの環境教育  
環境の一般知識から、諏訪湖の現状と有用微生物群を用いた生物処理法による水質浄化の教育実施。6月～9月



【寒鮎の遡上 (落水川)】

#### 【目標・ねらい】

- ①生物の多様性の実現
- ②プランクトンの増加
- ③水質環境の向上
- ④地域住民へ環境保全の意識付け

#### 事業効果

- ①諏訪湖では貧酸素化によりワカサギの大量死があった中、当該実施箇所においては汚泥、貧酸素化の削減など水質が好転したことにより寒鮎の大量の群れの遡上が確認された。また当該沿線住民にアンケート調査を行ったところ全ての住民が水質の好転が見られるとの回答が得られた。
- ②諏訪地域の小学校生に、ごみの削減 (給食を残さない捨てない) が諏訪湖浄化の一助になることなどの環境教育を行ったことにより、子供たちに環境保全の意識付けが得られた。またボーイ・ガールスカウトのダンゴ作りの協力も得てより諏訪湖浄化の意識を高められた。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】  
汚泥の削減も含め水質が好転し寒鮎の遡上の群れが確認されたことなど想像以上の効果が得られた。

#### 今後の取り組み

炭を利用した新しい手法により更に生物の多様性、魚の獲れる諏訪湖、泳げる諏訪湖に浄化し、特に貧酸素削減に向けて努力する。また真シジミ、鰻などSUWAブランドを創設につなげたい。この効果をより多くの方に認めていただき、行政との協力により早く諏訪湖にこの取り組みを実施していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある